

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。  
環境メガトレンド投資の大本命

# ワンポイント One Point 水素

nikko am  
Nikko Asset Management

vol.4

## 水素関連ビジネスを構成する3つのカテゴリー

カーボンニュートラルに向け、世界で主力のエネルギー源として世界で注目を集める「水素」。そんな水素は、社会を支える新たなインフラの一つとなり、私たちの生活の様々な場面で活用されるだけでなく、巨大な水素経済圏を生み出すと考えられます。

水素関連ビジネスは多岐に渡りますが、「つくる(材料・メーカーなど)」・「運ぶ・貯める(インフラ関連)」・「使う(水素を活用した商品・サービス)」という3つのカテゴリーに分けると整理しやすくなります。

### ■水素関連ビジネスを構成する3つのカテゴリー

つくる (材料・メーカーなど)	運ぶ・貯める (インフラ関連)	使う (水素を活用した商品・サービス)
<p>再生可能エネルギー</p>  <p>各国が開発・普及に注力する風力や太陽光などの再生可能エネルギーは<u>クリーンな水素製造にも欠かせない動力源</u>。</p>	<p>パイプライン</p>  <p>水素を輸送するためのパイプライン。<u>欧州ではすでに大規模なインフラ投資計画が進行中</u>。</p>	<p>水素発電所</p>  <p>水素を燃料として<u>CO<sub>2</sub>を出さないクリーンな発電を行なう</u>。脱炭素社会への大きな貢献が期待される。</p>
<p>水素プラント</p>  <p>水素の利用機会が広がるにつれ、水素製造機能を有する<u>プラントの需要増加も期待される</u>。</p>	<p>水素ステーション</p>  <p>水素モビリティの普及に欠かせない<u>重要なインフラの一つ</u>。</p>	<p>水素モビリティ</p>  <p><u>走行時にCO<sub>2</sub>を排出しない水素を動力とした自動車やバスの普及へ向けた取り組みが進む</u>。</p>

※上記はイメージです

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。